

## REQダンパー

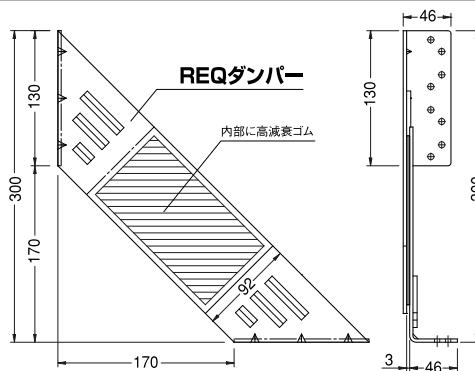
## ■ 設計施工時の注意事項

- 本製品は「高減衰ゴム」を利用した制震工法ダンパーです。計算して求められた延床面積あたりの必要数量を必ず守ってください。
- 取付け方が不正の場合、十分な効果が発揮できません。必ず、施工要領書に従って正しく施工してください。

## ■構成部材



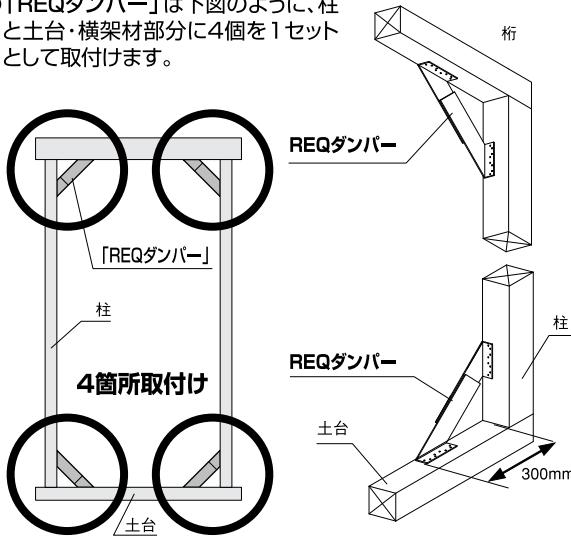
## ■製品図



## ■ 施工要領

## ①REQダンパーの取付け

- 「REQダンパー」は下図のように、柱と土台・横架材部分に4個を1セットとして取付けます。



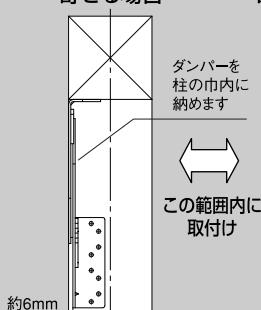
## △注意

## ●ビス打ちについて

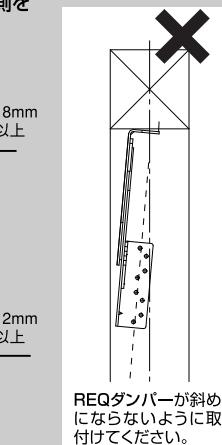
ビスを交互に取り付ける等により、REQダンパーと柱や土台・横架材との間に隙間が出来ないようにしてください。



## 高減衰ゴム側を寄せる場合



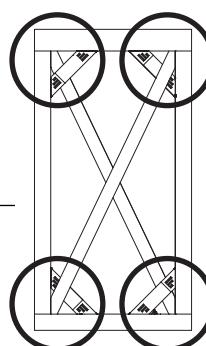
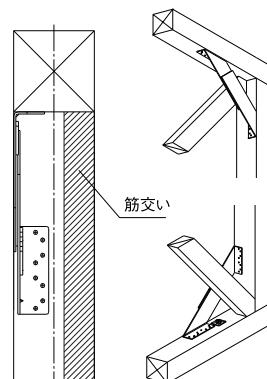
REQダンパーは、張合わせ構造になっていますので片側は約6mm内側に入ります。



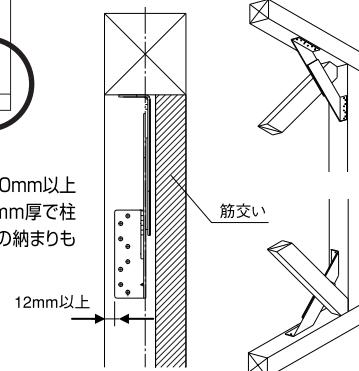
## ■取付け納まり例

## 筋交い部への取付け

- 筋交いのある壁部分に取り付ける場合は、筋交いの方向によって右図の様に、REQダンパーの取り付けを行います。対角に位置するREQダンパーの向きを揃えて取り付けます。



- 筋交いが45mm厚で柱が120mm以上の場合、または筋交いが30mm厚で柱が105mm以上の場合は右の納まりも可能です。

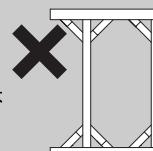


## △注意

## REQダンパーの取付け位置について

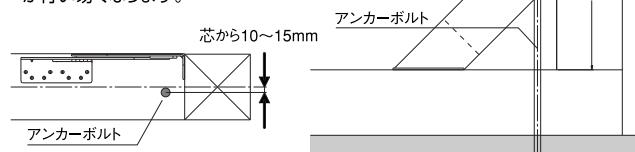
- 1本の柱の左右にREQダンパーを取付けることはできません。

(ただし、出隅部などで90度方向への取付けは可能です。)



## ホールダウン金物との納まり

- ホールダウン金物取付部へ施工する場合は、アンカーボルトにL=900mm等の物を使用して、REQダンパーと干渉しないようにして下さい。また、取付位置も芯から約10~15mm程度ずらすとREQダンパーのビス打ちが行い易くなります。



## REQダンパー

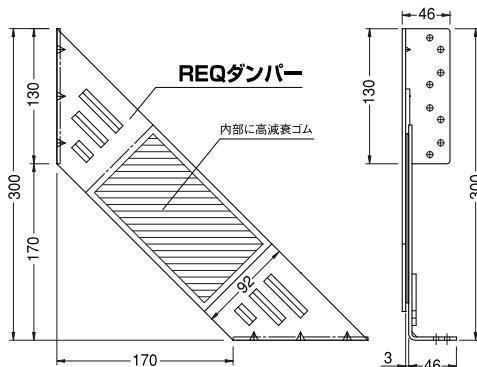
## ■ 設計施工時の注意事項

- 本製品は「高減衰ゴム」を利用した制震工法ダンパーです。計算して求められた延床面積あたりの必要数量を必ず守ってください。
- 取付け方が不正の場合、十分な効果が発揮できません。必ず、施工要領書に従って正しく施工してください。

## ■構成部材



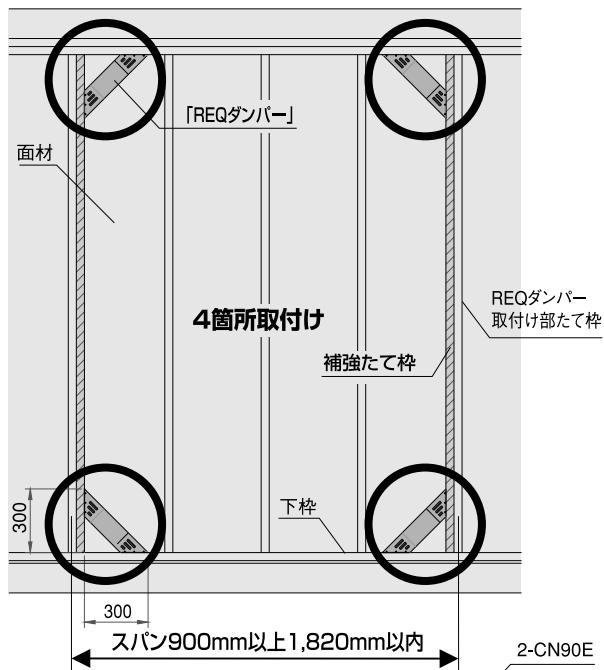
## ■製品図



## ■ 施工要領

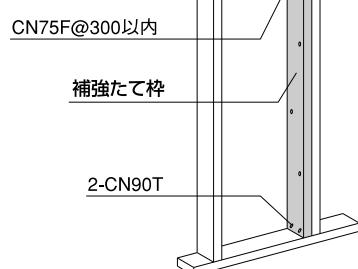
## ①REQダンパーの取付け

- 「REQダンパー」は下図のように、たて枠と下枠・上枠の角隅部分にスパン1,820mm以内に4箇所を1セットとして取付けます。取付けを行うたて枠は204材2枚合わせ以上としてください。



## 補強たて枠の取付け

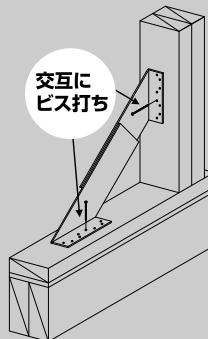
- たて枠を2枚とする場合は、上枠との仕口を2本のCN90を木口打ち（または斜め打ち）とし、下枠との仕口は2本のCN90を斜め打ち、中間部はCN75を300mm間隔以内に千鳥に平打ちとしてください。



## △ 注意

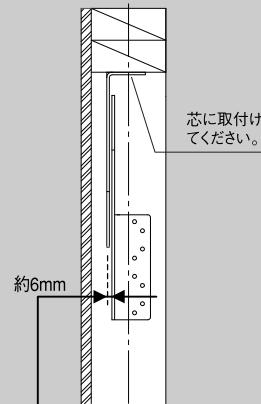
## ●ビス打ちについて

ビスを交互に取り付ける等により、REQダンパーとたて枠と下枠・上枠や補強たて枠との間に隙間が出来ないようにしてください。

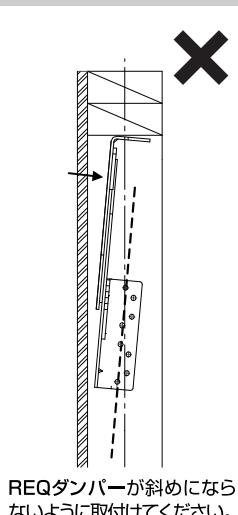


## △ 注意

- REQダンパーは、スタッド中央部へ取付けてください。



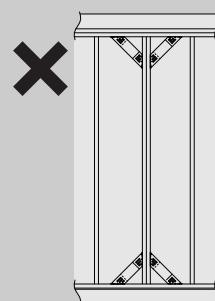
REQダンパーは、張合せ構造になっていますので片側は約6mm内側に入ります。



## △ 注意

## REQダンパーの取付け位置について

- 1本のたて枠の両側にREQダンパーを取付けることはできません。  
(ただし、出隅などで90度方向への取付けは可能です。)



## △ 注意

## ホールダウン金物との併用は不可

- ホールダウン金物取付け部へREQダンパーの取付けはできません。別の位置への配置をお願いいたします。